

# 第4学年 道徳科学習指導案

第4学年1組 15名

指導者 木村 祥子

## 1 主題名 正直に生きる

A- (2) 正直, 誠実	過ちは素直に改め, 正直に明るい心で生活すること。
---------------	---------------------------

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいや指導内容について

過ちや失敗は誰にでも起こり得ることである。そのことで自分自身が責められたり、不利な立場に立たされたりすることを回避しようとして、うそを言ったりごまかしたりすることがある。

しかし、このことによって他者の信頼を失うばかりか、自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心への呵責などが生じる。それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと過ごそうとする心の清々しい明るさでもある。このような誠実な生き方を大切にすることを育てていきたいと考え、本主題を設定した。

### (2) 児童の実態

本学級の児童は、明るく元気である。「イベント係」を中心に学級みんなと一緒に遊ぶ計画をし、休み時間に楽しく遊ぶことができている。昨年度までは度々トラブルも起こっていたようだが、お互い寛容な態度で遊ぶを楽しむことができている。失敗したときも素直に謝ることができる児童が多い。クラス対抗のドッジボールでもあまり勝ち負けにこだわらず、ルールを守ってプレイすることができている。しかし、試合が白熱してくると、ボールに当たっても友達に言われないとそのまま試合を続けたり、審判の顔をうかがいながら試合をしたりする児童もおり、「当たったのに外野にでない。」という不満の声も聞こえてくる。

そこで、正直に行動することで、明るい心で伸び伸びとした生活が実現することを理解させたい。そして、この時期の活動的な特徴を生かしながら、児童それぞれが元気よく生活できるようになってほしい。

### (3) 教材について

(教材名「ぼくはMVP」出典：光文書院)  
ドッジボールをしているときに、相手が投げたボールが主人公の「ぼく」の足をかすってしまう。「ぼく」はアウトになって外野に出ようかと迷うが、友達に促されてそのままゲームを続ける。そして自分の活躍でチームが大逆転し「今日のMVP」ともてはやされるが、「ぼく」は一人だけ気が重くなってしまふ。「正直に言うことは大切だ」と分かっけていてもなかなか言い出せない主人公の心の葛藤を描いた内容である。

自分の過ちを正直に認めることは大人でも難しい。しかも、友達との人間関係が関わってくるとなおさらである。しかし、正直に行動したときの清々しい気持ちに気付かせることで、正直な行動ができるようになってほしい。また、同じような経験をしたことがある児童が多いと考える。児童一人一人が主人公になったつもりで考えさせ、これからの自分の生活につなげさせていきたい。

### (4) 語り合い・深め合う学びのための工夫

導入段階では、「正直」についてイメージマップにまとめていくことで、現在もっている価値観やイメージを確認したり共有したりし、価値の焦点化を図る。

展開段階では、「ぼく」がどうしようかと悩む場面を劇化することで、言わなくていいかなと思っているぼくの心情を捉えさせる。また、心情曲線で「ぼく」の気持ちをあらわすことで葛藤する「ぼく」の心の様子を視覚的に捉えられるようにし、意見の交流を図る。最後に、導入時に用いたイメージマップを用いて「正直」について考え、本時の学びを視覚化することで明確に捉えられるようにしたい。

### 3 本時の学習

#### (1) ねらい

自分に不利になることでも、良心に従って正直に行動しようとする心情を育てる。

#### (2) 展開

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点 ☆評価
導入	1 正直について考え、教材を読む視点をもつ。	○正直とはどんなことでしょう。 ・うそをつかない。 ・素直にあやまる。	○イメージマップを使って価値の焦点化を図る。
		正直について考えよう。	
展開	2 教材を読み、正直に行動することのよさについて考える。 (1) 正直に言えない「ぼく」の気持ちについて考える。  (2) MVPだと言われたときの「ぼく」について考える。  (3) 正直に言いたい気持ちが強くなった「ぼく」について考える。	○どうしようかとまよったとき、ぼくはどんな気持ちだっただろう。 ・本当はアウトだったから言わなくちゃ。 ・盛り上がっているから、言いたくない。 ・誰も気付いてないからだいじょうぶ。  ○一人だけ気が重かったときのぼくの気持ちを考えましょう。 ・正直に言えばよかった。 ・とんでもないことをしてしまった。 ・うそはよくなかった。  <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">○なぜ、ぼくは正直に言いたい気持ちが強くなったのだろう。 ・正直に言うときスッキリするから。 ・やっぱりうそはよくないと思ったから。 ・みんなのことをうらぎったままはいやだから。</div>	○場面を劇化することで、言わなくてもいいかなと思っているぼく的心情を捉えさせる。  ○正直に言えないぼくの心苦しさを深くつかませる。  ○葛藤するぼく的心情曲線に表し、気持ちの変化を考えさせる。  ○正直に行動することの大切さを理解させる。 ☆ア
	3 今日の学習を振り返る。	○今日の学習の振り返りを書きましょう。 ・自分に正直に生きていきたい。	○具体的な行動で考えられるようにする。 ☆イ
終末	4 教師の説話を聞く。	○正直に行動することは大切だと分かっているけど、そのときの状況や相手によって正直に行動できないこともありました。正直に行動できなくて、今でも苦い思い出として残っています。	○自分に正直に行動する大切さを感じとれるようにする。

#### (3) 評価

☆ア 過ちや失敗をごまかさないで正直に行動することで、気持ちよく生活できることが分かったか。(道徳ノート・発言)

☆イ 自分に正直に行動し、豊かな人間関係を築いていこうとする実践意欲を高められたか。(道徳ノート)